

2026年(令和8年)

3月定例会

3月定例会審議結果	1
議員発議	4
紙上中継	5
3月定例会一般質問 (町政をただす)	6
あれからどうなった? (一般質問のその後は)	16
議会の活動	17
石川町議会と各種団体との 意見交換会(募集)	18

石川町 議会 です

こんにちは

発行/石川町議会

編集/広報常任委員会

No. 230

令和8年
5月1日

お友達とお花見散歩

石川町議会
ホームページ



写真/やどかり保育園

令和8年度

一般会計・特別会計 予算

(88億3,128万円) (38億7,671万円)

総額 127億799万円

実施隊活動の様子



新規

クマ対策経費
310万円

(クマによる人的・物的被害が全国的に相次ぎ、一定条件のもと町の判断、責任で駆除を行える緊急銃猟制度が施行されたことから、クマが人の生活圏に侵入してきた場合の駆除活動を行うため、報償費、備品等の体制整備を図る。)

3D都市モデルのイメージ



継続

3D都市モデル
整備事業

1,100万円

(町内全域の地形及び建築物の3次元地図を整備し、災害発生時の避難シミュレーションなどを行う。)



新規

石川小学校
体育館

小学校施設改善事業 **660万円**

(小学校体育館空調整備の調査・検討・実施設計)

「共に創る 幸せ実現のまち」

保健・福祉・医療

健康で元気に暮らせるまち
事業費/64億835万円

- 地域福祉の推進
- 児童福祉の充実
- 保健・医療の充実
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 人権尊重・権利擁護の推進
- 保険制度(国保・後期・介護) [58事業]

産業・観光

活力ある産業を形成するまち
事業費/8億346万円

- 農林業の振興
- 商工業の振興
- 雇用の創出
- 観光の振興

[38事業]

教育・文化・スポーツ

豊かな心・町民文化を育むまち
事業費/12億2,050万円

- 生涯学習の充実
- 社会教育の充実
- 学校教育の充実
- 文化の振興と歴史資源の継承
- 鉱物の保存・活用
- スポーツの振興

[59事業]

防災・生活環境

安全で住みよいまち
事業費/8億8,709万円

- 消防・防災対策の充実
- 交通安全・防犯対策の充実
- 脱炭素・循環型社会の形成
- 放射能対策の推進

[17事業]

生活基盤

都市機能が充実したまち
事業費/8億6,567万円

- 土地利用の推進
- 生活道路の充実
- 河川環境整備の推進
- 住環境の整備
- 上水道の整備
- 公共交通網の整備

[29事業]

地域自治・行政運営

共に創るまち
事業費/5億7,774万円

- 協働によるまちづくりの推進
- 効率的な行財政運営
- デジタル化の推進
- 広域行政・地方分権
- 町民参加
- まちなか再生の推進

[24事業]

● その他の59事業 事業費/19億4,518万円

令和8年3月定例会は、3月5日から3月17日までの13日間の会期で開かれ、専決処分1件、条例案件6件、補正予算4件、当初予算9件、その他12件と請願1件、議員より発委2件及び発議2件の合計37件を審議しました。

みんなが知りたい

予算の目玉



新規

児童用GIGA
スクール用端末更新 **3,470万円**

生徒用GIGA
スクール用端末更新 **2,280万円**

(GIGAスクール構想により令和3年に導入した児童・生徒用タブレット端末を更新。)

継続

石川町まちづくり基本計画
策定業務 **1,500万円**

(石川町都市計画マスタープランの見直しを行う中で、都市再生特別措置法に定める立地適正化計画を一体的に策定。)

新規

公共施設包括管理業務
委託料 **1億4,724万円**

(町が管理する公共施設の、設備保守点検、警備、清掃等の維持管理業務及び修繕業務を包括的に委託し、業務の効率化を図るとともに、緊急時を含めた施設管理体制及び相談体制の整備を推進する。)



託児サービスのイメージ

新規

健診時託児サービス **7万3千円**

(住民健診や検診時に託児サービスを実施し、小さな子どもがいる方でも検診を受けやすい環境を整える。)

新規

定期予防接種再接種費用
助成金 **30万円**

(造血幹細胞移植等によって免疫が低下又は消失した方の各種予防接種の再接種費用を助成します。)

新規

地域おこし協力隊(観光)の
採用 **1,047万円**

(観光物産振興を担う隊員1名及び温泉旅館におけるインバウンド対応を担う隊員1名の計2名の採用を予定。)

新規

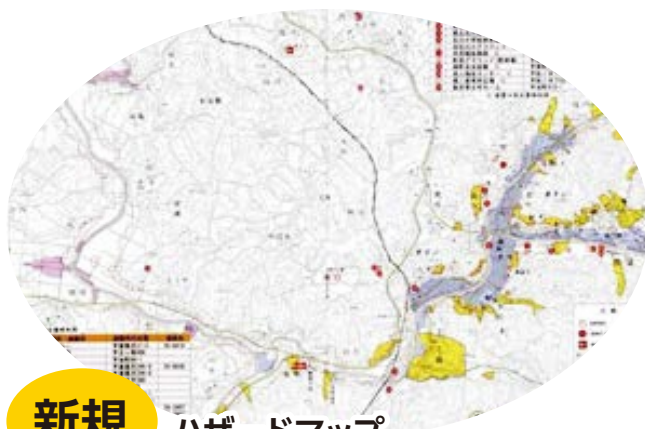
地域おこし協力隊(農業)の
採用 **1,112万円**

(農業事業者の定着を目的として、地域おこし協力隊2名の採用を予定。)

新規

地域おこし協力隊(林業)の
採用 **1,100万円**

(林業事業者の定着を目的として、地域おこし協力隊2名の採用を予定。)



新規

ハザードマップ
更新作成委託料 **800万円**

(福島県による中小河川の浸水想定区域の指定が令和7年度末に完了することを受け、現行のハザードマップの更新版を作成。)

議案・請願・発委・発議 審議結果

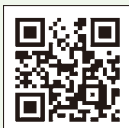
全議案が全会一致で承認・可決・同意・適任・採択されました

議案番号	議案名
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度石川町一般会計補正予算-第7号)
議案第2号	石川町旅費条例の全部を改正する条例について
議案第3号	石川町課設置条例の一部を改正する条例
議案第4号	石川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案第5号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第6号	石川町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例
議案第7号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
議案第8号	令和7年度石川町一般会計補正予算(第8号)
議案第9号	令和7年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案第10号	令和7年度石川町介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第11号	令和7年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)
議案第12号	令和8年度石川町一般会計予算
議案第13号	令和8年度石川町国民健康保険特別会計予算
議案第14号	令和8年度石川町後期高齢者医療特別会計予算
議案第15号	令和8年度石川町介護保険特別会計予算
議案第16号	令和8年度石川町母畑財産区特別会計予算
議案第17号	令和8年度石川町中谷財産区特別会計予算
議案第18号	令和8年度石川町土地開発事業特別会計予算

議案番号	議案名
議案第19号	令和8年度石川町宅地造成事業特別会計予算
議案第20号	令和8年度石川町水道事業会計予算
議案第21号	石川町過疎地域持続的発展計画について
議案第22号	訴えの提起について
議案第23号	訴えの提起について
議案第24号	財産の無償貸付について
議案第25号	財産の処分について
議案第26号	指定管理者の指定について
議案第27号	町道路線の廃止について
議案第28号	路線の町道認定について
議案第29号	石川町監査委員の選任について
議案第30号	石川町固定資産評価員の選任について
議案第31号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(湯澤千春(南山形))
議案第32号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(大串さち子(北山))
請願	
請願第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について
発委・発議(議会)	
発委第1号	石川町議会委員会条例の一部を改正する条例
発委第2号	石川町議会傍聴規則の一部を改正する規則
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書
発議第2号	重度心身障害者医療費助成制度に対する国庫負担金減額調整措置の廃止を求める意見書

審議の経過については、こちらをご覧ください。

令和8年3月定例会
最終日



令和8年3月臨時会



石川町固定資産評価員の選任について、矢吹重雄氏を適任として同意しました。

石川町固定資産評価員の選任

石川町監査委員の選任について、矢吹信一氏を適任として同意しました。

石川町監査委員の選任

衆議院議員選挙の執行のため、所要額922万9千円を補正しました。

〔専決処分〕

令和8年3月臨時会 議案 審議結果

令和8年3月26日に令和8年3月臨時会が開催され、全会一致で可決されました

議案番号	議案名
議案第33号	道の駅整備造成工事請負変更契約の締結について

議員発議

議員発議により2件の意見書を、
国・関係省庁等へ提出しました。

※掲載の都合上、要約した内容になって
いますのでご了承ください。

発議第1号 | 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

〈発議の趣旨〉 2025年の春闘では過去最高水準の賃上げが実現しましたが、物価高の影響で実質賃金は依然として改善しておらず、個人消費の回復には至っていません。多くの人が生活の向上を実感し、将来に安心感を持てる社会をつくるためには、賃上げの流れを定着させ、物価の安定と実質賃金の改善を進めることが重要です。

そのためには、中長期的な視点で「人への投資」を強化し、国内投資や産業基盤の強化を通じて生産性を高め、持続的な生活向上につながる取り組みが求められます。また、人手不足の解消や地域経済の好循環を実現するため、最低賃金の引き上げは福島県の人口流出抑制にも効果が期待される重要な政策と考え、次の事項について強く要望し、意見書を提出するものです。

1. 国の目標（2020年代に全国平均1,500円）を踏まえ、福島県の最低賃金を継続的かつ着実に引き上げること。
2. 中小企業でも賃上げが実現できるよう、価格転嫁を進める環境整備と支援策の周知を関係機関と連携して進めること。
3. 最低賃金引き上げが人口流出抑制や労働力確保につながることを踏まえ、政策的に積極的に取り組むこと。



発議第2号 | 重度心身障害者医療費助成制度に対する 国庫負担金減額調整措置の廃止を求める意見書

〈発議の趣旨〉 多くの自治体では、重度心身障害者の負担を軽減するため、医療費の窓口支払いが不要となる「現物給付」を実施しています。しかし国は、医療費増加を理由に、この方式を採用する自治体に対し国民健康保険の国庫負担金を減額する、いわゆる「ペナルティ」を続けています。

令和6年4月には、子ども医療費助成の減額調整が全廃され、子育て世帯の負担軽減が進みました。一方で、重度心身障害者やひとり親家庭への医療費助成には依然として減額措置が残り、不合理な格差が生じています。重度心身障害者にとって医療は生活の基盤であり、経済的理由で受診が妨げられることはあってはなりません。

また、自治体が住民のために行う福祉施策に国が財政的制約を課すことは、地方自治の理念にもそぐわないものです。本町議会は、医療格差の解消と安心して医療を受けられる環境づくりのため、次の事項を強く要望し、意見書を提出するものです。

1. 現物給付を行う自治体への国庫負担金減額措置を直ちに廃止すること。
2. 重度心身障害者医療費助成について、全国一律の窓口無料化制度を国の責任で創設すること。
3. 自治体が独自の福祉施策を安定して続けられるよう、十分な地方財源を確保すること。



紙 上 中 継

予算審査特別委員会

分譲住宅地

「みよしの森」の販売PR

旧雇用促進住宅跡地（矢ノ目田地内）に造成しました分譲住宅地「み

よしの森」は、若者世帯や子育て世帯向け住宅地として令和7年9月に分

譲販売を開始しました。現在のところ先着順の分譲となっており、申込条件や契約のスケジュールなどについて問い合わせもあつたことでもあります。

令和8年度当初予算では、100万円の広告費を計上しており、昨年度に引き続き積極的な販売PR活動を展開していく予定です。

「みよしの森」上空からの写真



小学校体育館への

空調設備整備事業

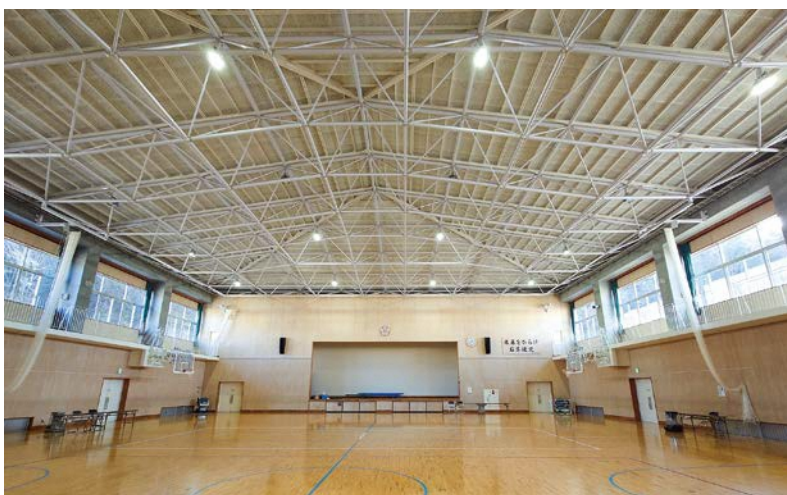
近年、日本の平均気温は上昇傾向にあり、夏場は記録的な高温が見られ、

学校においても体育授業やスポーツ活動中の熱中症が懸念されています。

このため、子どもたちの学習・生活の場であり、災害時には避難所として活用される石川小学校体育館に空調設備を設置するための取り組みが進められることになりました。

令和8年度当初予算には、調査・検討、実施設計を行う費用として660万円が計上されており、令和9年度に工事が予定されています。

空調設備設置を進める石川小学校体育館



一般質問 町政をたただす

菊池美知男 議員

P7

- ◆新年度予算と重点事業について
- ◆なりすまし等詐欺被害防止対策について
- ◆誰もが安心安全に通行できる歩道等の整備について



鈴木 義延 議員

P8

- ◆高齢者福祉に関する事業の充実について
- ◆自動車の急発進抑制装置設置補助金について



星 恵子 議員

P9

- ◆学校給食費の無償化について
- ◆高齢者の健康保持に向けた施策について



根本 重泰 議員

P10

- ◆町内6自治センターの活動について
- ◆地域おこし協力隊について



小木 芳郎 議員

P11

- ◆首藤町政の運営について
- ◆石川町農業の未来について



瀬谷 寿一 議員

P12

- ◆都市計画マスタープランの見直しと新たな立地適正化計画の策定について
- ◆シビックプライドの醸成について



瀬谷 京子 議員

P13

- ◆大型事業の進捗状況について
- ◆令和8年度新規及び拡大事業について



金沢 和則 議員

P14

- ◆デジタル地域通貨について
- ◆成年後見制度について



迎 茂城 議員

P15

- ◆令和8年度予算編成と重要施策の推進について
- ◆「まちなか再生」の深化と地域経済の循環に向けた戦略について



一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたただすもので、定例会に限って行われます。今回は9名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。(質問の一部を割愛しています。)
詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像によりご覧いただけます。

Q 町管理の歩道の整備計画は



質問者の動画が見られます

A 石川町通学路交通安全プログラムを安全対策方針とし、今後石川小・中学校間の歩道改修を計画しています



きくちみちお 議員
菊池美知男

◆ 新年度予算と重点事業について

質問 無駄、無理を無くし、効率的な町政運営を行うための予算執行に対する考え方と、税収の見込み及び債権管理の考え方は。

答弁 最小の経費で最大の効果が得られるよう予算執行に努め、効率的な町政運営に取り組みます。

税収の見込みについては、地方税法の動向を注視しながら、過去の収入実績や客観的な根拠、裏付けに基づき適正な算定を行います。債権の管理は債権管理

条例に基づき手続きを適正に行い、自主財源の確保に努めます。

質問 町民満足度調査を踏まえ、どのように町民ニーズを捉え、どう予算に反映し事業に盛り込むのか。

答弁 満足度が低く重要度の高い施策や分野を重点事業と位置づけ、効果が見込まれる事業へ反映し、町民の皆様の期待に応えられる予算編成に努めます。

質問 限りある財源の中で、各種事務事業における予算配分に偏り、しわ寄せ等はないか。

答弁 町民の皆様の声や社会情勢の変化を踏まえ、公平性と透明性を確保し、真に必要な分野への予算配分に努めます。

質問 役場組織機構の見直しにより期待でき

る住民サービス向上のポイントは。

答弁 限られた資源を最大限に活用した効率的・効果的なサービスの提供が可能になります。

◆ なりすまし等詐欺被害防止対策について

質問 周知・啓発や、相談体制等、特殊詐欺被害を未然に防止するための方策は。

答弁 「まずは疑う、相談する」という意識の普及を図り、警察署等の関係機関とともに、特殊詐欺被害の未然防止に取り組めます。



老朽化した歩道

◆ 誰もが安心安全に通行できる歩道等の整備について

質問 町管理以外の歩道の整備要請状況は。

答弁 特に国道118号猫啼地区の車歩道幅員の狭隘箇所、白河石川線沿線市街地の歩道のラバー舗装の老朽化、飯野三春線の屋敷入地内の歩道未設置区間などは、歩行者の安全確保や利便性に支障をきたしていると認識し、早期に整備が図られるよう関係機関に強く要望しています。

Q 自動車の急発進抑制装置設置への補助制度導入は



質問者の動画が見られます

A 補助制度を導入できるように準備を進めます



鈴木 義延 議員

◆高齢者福祉に関する事業の充実について

質問 石川町高齢者福祉住宅改修事業の概要は。

答弁 高齢者が、住み慣れた自宅で継続して安全安心な生活が送れるよう、住宅の改修を支援する事業で、本人が居住する住宅への手すりの取り付けや段差の解消など、介護保険法に規定する住宅改修に準じた工事費の9割以内、9万円を上限に助成しています。

質問 介護保険居宅介護住宅改修事業の概要



は。

答弁 介護保険法に基づき要介護または要支援の認定を受けた方が、自宅で安全に快適な生活が送れるよう、住宅の改修を支援する事業です。

手すりの取り付け、段差の解消、滑り防止のための床材の変更等を対象とし、利用者が費用の1割から3割を自己負担し、残りは保険給付として20万円を限度に支給します。原則1人1回の利用です。

質問 これら事業の案内は。

答弁 介護保険の対象の方には「介護保険居宅介護住宅改修事業」を、対象外の方には「高齢者福祉住宅改修事業」を周知し、高齢者に対する住環境の整備に取り組んでいます。

◆自動車の急発進抑制装置設置補助金について

質問 本町における、自動車の安全運転支援装置、急発進抑制装置の認識は。

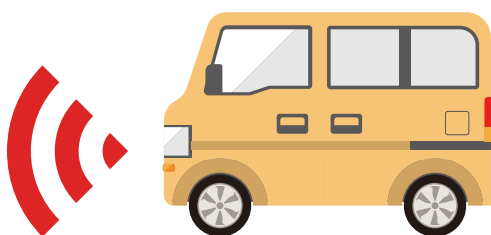
答弁 急発進抑制装置などの安全運転支援装置は、高齢者や運転に不慣れたドライバーをサポートするシステムで、現在、国では新型車へのシステム搭載を義務付けしています。

この装備の無い車に後付けできる急発進抑制装置は、特に駐車場

や狭い道路での低速走行時に効果を発揮するとされていますが、時速30キロを超える状況ではうまく作動しないケースがあるなど、効果は限定的です。

質問 急発進抑制装置設置への補助金制度導入に向けた検討状況は。

答弁 高齢者の交通安全対策の一つとして、新年度の早い段階で急発進抑制装置の補助制度を導入できるように準備を進めます。





質問者の動画が見られます

Q 令和8年度の給食費1食分の単価はいくらか

A 小学校390円、中学校450円です



ほし けいこ 議員

◆学校給食費の無償化について

質問 給食無償化の成果と課題は。

答弁 成果としては、子育て家庭の経済的負担の軽減、給食費徴収等の学校の業務負担の軽減があげられます。課題としては、急激な食材等の高騰により、町の財政負担が増加傾向にあることです。

質問 予算の補正について。

答弁 献立の工夫や補助事業の活用などの努力をしても食材の高騰で予算が足りなくなる

場合、予算の補正をせざるをえないと考えています。

質問 子育てしやすい環境が進むのがありますが、関心が薄れることが心配だ。

答弁 PTA総会やHPなどで、給食費補助などについて情報発信していきたいです。

質問 来年度の予算方針は。

答弁 令和8年度創設される予定の、国の「給食費負担軽減交付金」を活用し、できる限り町の財政負担が拡大しないように努めます。

質問 令和8年度の小学校給食費町負担の見込みは。

答弁 国交付金があるため、607万円ほどが町の持ち出しの見込みです。

質問 給食を食べない子の家庭に、金銭的支援を行う考えはあるか。

答弁 県と協議し進めたいと考えています。

◆高齢者の健康保持に向けた施策について

質問 要介護認定者の推移は。

答弁 令和7年度は19%で、増加傾向です。

質問 健康保持に向けた取り組みについて。

答弁 自立支援と重度化防止を推進し、社会参加の促進として「高齢者タクシー料金兼温

泉施設利用料金助成事業」を実施しています。

質問 後期高齢者被保険者証の送付時に、利用券を送れないか。

答弁 慎重に考えざるをえません。

質問 住宅改修にかかる費用の助成拡大について。

答弁 将来的な介護給付の抑制につながるよう、対象要件や助成条件の見直しに向けた検討を進めていきます。

意見 「転ばぬ先の杖」もあるが、「転ばぬための手すり」が重要ではないか。



おいしい給食「いただきます」



廊下に設置された手すりの例

Q 人事異動にとらわれず専門性が継承される自治センター支援員を配置できないか



質問者の動画が見られます

A 重要な視点なのかとは思っています

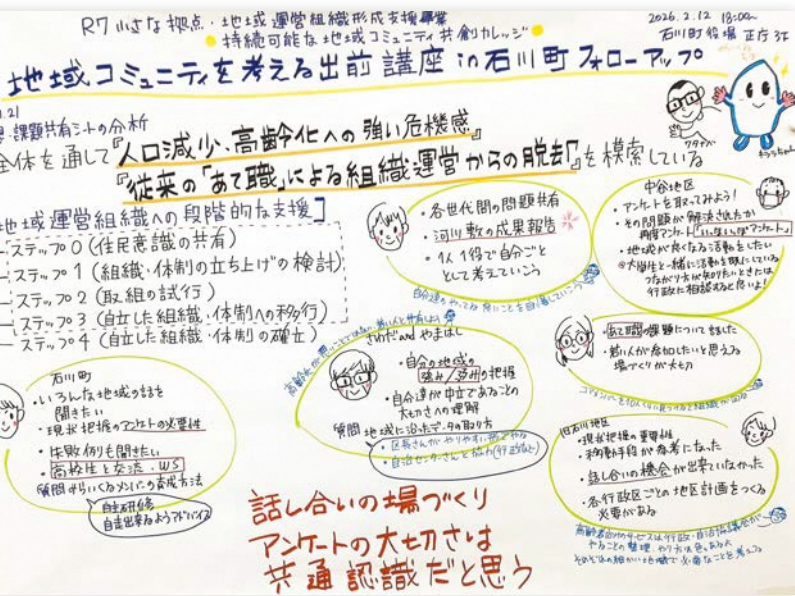


ねもと しげやす
根本 重泰 議員

地域づくりには、
専門性・活動の継
続が必要です

◆町内6自治センターの活動について
【質問】 町が自治センターに求める活動は。
【答弁】 単なる施設の貸館業務や行政連絡にとどまらず、町民の自主的な生涯学習活動及び地域に根差したまちづくり活動を支援し、地域自治協議会の活動拠点として住民自らが企画運営する地域課題解決型の活動です。

【質問】 コロナ・高齢化の中でセンター活動の現状分析は。
【答弁】 毎月の連絡会議や、懇談会、センター訪問の中で、地域計画の見直しや担い手不足に関する切実な声が寄せられました。
現場の生の声とアンケートによるデータを基に、持続可能な地域活動に向けた実効性の高い支援策を講じていきます。



「何をしてもよいかかわからない」との声もありました。みんな悩んでいます。

【質問】 地域おこし協力隊の採用は。
【答弁】 農政課に農業2名、林業2名、企画商工課に観光物産振興1名、温泉旅館のインバウンド対応1名、計6名の採用を予定しています。
活動初年度から起業支援や就農相談、卒業後のキャリア形成を見据えた伴走型の支援を行い、石川町で生きていくという目標を持つ活動していただけの体制を整えます。

Q 町長が思い描く石川町のビジョンは



質問者の動画が見られます

A 町民一人ひとりが主役の力強い町です



おぎ よしろう
小木 芳郎 議員

◆首藤町政の運営について

質問 就任からこれまでの町政運営に対する成果は。

答弁 就任当初より、「町民第一主義」を掲げ、行政に対する信頼の回復、石川町民としての自信と誇りの回復に取り組みできました。公約に掲げた施策は道半ばであり、初志貫徹の精神で取り組んでいきます。

質問 若者の人口流出の現状と課題は。

答弁 39歳以下の転

出が約7割を占めており、3つの課題があると認識しています。
①若者が希望する就労の場の確保
②若者のライフスタイルに合った住環境の整備
③地域風土や慣習とのミスマッチ

これらの課題解決に向け、ソフト・ハード両面からの環境づくりを進めます。

質問 企業誘致の進捗状況は。



新年度を迎えた石川町役場庁舎

答弁 町内に立地いただいている企業の本社を訪問し、事業展開や設備投資などの情報収集や、企業との信頼関係を深めながら、町内投資を後押しする取り組みを進めます。

◆石川町農業の未来について

質問 農業を取り巻く現状は。

答弁 農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加、それに伴う構造的な課題が深刻化しています。経営の面では、生産資材の高騰が経営を圧迫しており、注視していく必要があります。

質問 資材高騰・経営悪化への支援は。

答弁 スマート農業などに取り組む農業者に対し、令和8年度も引



雪解けが進む水田

き続き「農業経営担い手育成支援事業」の実施を予定しています。

質問 担い手確保と農業の将来像は。

答弁 農業の大きな課題は、将来の担い手不足であり、担い手の育成と新規就農者の確保の取り組みを進めます。令和8年度から、農業部門での地域おこし協力隊の活用を図るとともに、移住・定住フェアや就農フェア等へ積極的に参加していきます。

Q 立地適正化計画策定における個別課題は何か



質問者の動画が見られます

A 現段階では項目を検討中であり、石川町の歴史・文化も踏まえ十分に検討します



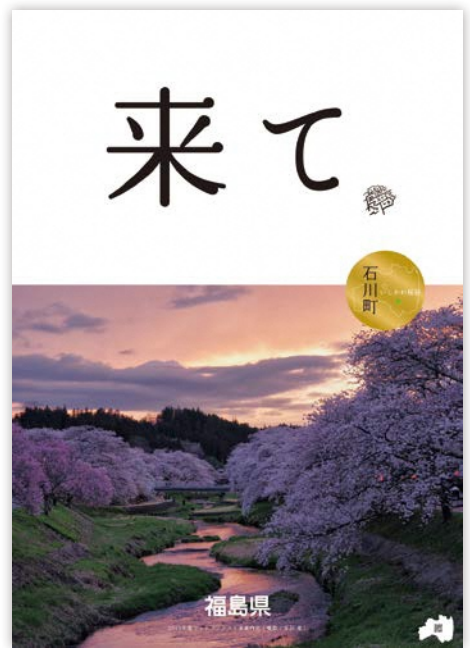
せや としかず
瀬谷 寿一 議員

◆都市計画マスタープランの見直しと新たな立地適正化計画の策定について

質問 10年後の人口が1万人を割る予想の中で策定する計画の視点は。

答弁 コンパクトで持続可能な都市構造という視点で計画策定を行います。防災の視点も取り入れ、住みやすい街並みの形成を目指します。

質問 令和7年度の新築住宅は20軒で例年の半数だが、宅地造成の考えは。



市町村版「来て。」ポスター
「来て。」ポスターフォトコンテスト
石川町賞受賞「川面を染めて」吉田進氏

答弁 バイパス沿線の背後地を利用した土地利用計画も検討していくこととなります。

質問 都市計画マスタープランは議会の議決事項なので、早めの議論の場を。

答弁 町の将来を担う重要な政策なので、要所所で指導を賜りたいです。

◆シビックプライドの醸成について

質問 シティプロモーション事業で何をシ

ビックプライドとしてアピールしているのか。
答弁 「桜」「温泉」「鉱物」といった、本町が長い歴史の中で守り育ててきた地域資源です。

質問 本町の大きな財産の桜の維持管理に不安が出ているが、何らかの対応が必要ではないか。

答弁 今の桜を町民参加で維持しつつ、新たな桜の名所も町民参加によりつくっていくことがシビックプライドの醸成にもなると考えます。

質問 石川町の岩盤の強さもシビックプライドを醸成するための資源になるのではないかと。
答弁 大震災直後、立地企業からは石川に来て良かったと言われました。岩盤の強さは一つの売りです。

質問 シビックプライドの醸成には、外側からの指摘と内側の町民の理解・認識が大事ではないか。

答弁 町内では、いろいろな場にお招きいただいた際に、皆様の取り組みが、自ら積極的に参加し、関わり、地元を盛り上げている、そういう中で郷土愛を育んでいくんだと話しています。町外からは、石川町出身の在京の文化経済人等との交流からシビックプライドを醸成していきたいです。

Q 道の駅石川の従業員採用は



質問者の動画が見られます

A 正規職員5名程度とパートタイム販売員50名以内の採用を予定しています



せや きょうこ 議員
瀬谷 京子

◆大型事業の進捗状況について

質問 道の駅石川の出荷希望者は。

答弁 運営事業者は出荷希望者との個別相談会を行っており、農産物・加工品の物販では、町内外の事業者ら約100社が相談に来ています。

質問 特産品開発は。

答弁 「石川の鋤物をモチーフにした菓子」「栗」「日本酒」の3部門で開発中です。

栗は沢田地区12軒の農家が600本を栽培しており、今秋から収

穫でき、生栗販売のほか、菓子類への加工も検討しています。

質問 道の駅石川の出荷手数料は。

答弁 農畜産物は最大20%、会社等でなく個人の出荷加工品は最大25%で、町内の方の手数を優遇します。

質問 道の駅石川の開駅はいつか。

答弁 今年9月の大型連休を目指します。

質問 今出川河川改修事業の進捗と課題は。

答弁 北須川合流点から今須橋までの1工区は、護岸工の一部と今須橋の下部工まで完成しました。しかし、一部未買収用地があり施工が困難なため、県では一部の護岸工事を進めながら今出橋から上流2工区の用地取得を先行しています。今後

は買収困難な用地の取得に法的措置を講じることや、施工可能な範囲で工事を実施することです。

質問 石川バイパスの全面開通はいつ。

答弁 最後の工事となる法面工、舗装工、国道118号交差点の改良舗装工に着工しており、今年夏頃に全線開通の見通しです。

◆令和8年度新規及び拡大事業について

質問 分譲住宅地「みよしの森」の現状は。

答弁 矢ノ目田の旧雇用促進住宅跡地を全22区画の住宅地とし、若

帯向けに昨年9月から販売しています。

質問 PRの強化を。

答弁 看板設置や広報誌への掲載、ネット広告など若い世代に的を絞ったPRやテレビ番組内CMを行いました。今後は、住宅展示場でのチラシ配布やフリーペーパーへの掲載などを展開していきます。



分譲中の住宅地「みよしの森」

Q デジタル地域通貨の導入は



質問者の動画が見られます

A 現時点で導入することは困難と考えています

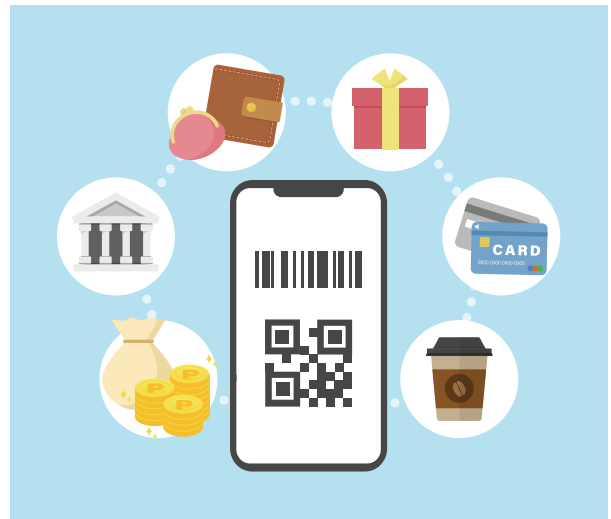


かなざわ かずのり
金沢 和則 議員

◆デジタル地域通貨について

質問 デジタル地域通貨の導入についてどのように考えているか。

答弁 デジタル地域通貨は、地域経済の活性化のみならず、行政給付の効率化や住民サービスの向上に資する有効な手段の一つとは認識していますが、本町の人口・経済規模にお



いては利用者数や加盟店舗の確保、決済総額の伸び悩みが懸念されることから、持続可能な運営体制の構築が最大の課題となり、有効性は十分に認識しつつも、費用対効果の観点から、現時点において直ちに導入することは困難であると考えています。

◆成年後見制度について

質問 成年後見制度利用支援事業における中核機関の運用状況は。

答弁 町では、令和7年3月に「石川町成年後見制度等利用促進に係る中核機関事業運営要綱」を制定し、「中核機関」を町直営で設置し、権利擁護支援を行っております。

設置以降、4名の方が成年後見制度を利用し、うち2名が首長（町長）申立てを行っております。

質問 権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築に伴う職員等の研修受講状況は。

答弁 石川管内



5町村で協議し、今年1月に「石川地方成年後見制度地域連携ネットワーク協議会」を設立しました。運用にあたり、制度の理解と複雑化する課題に対応できる専門性を身に付けるため、県の支援事業を活用し、これまで各種研修を計8回受講しています。

Q 「点」から「面」への回遊性向上を



質問者の動画が見られます

A 「道の駅石川」を玄関口に人の流れを創出します



むかえ しげき 議員
迎 茂城

◆令和8年度予算編成と重要施策の推進について

質問 予算編成の基本方針は。

答弁 「アウトカム重視の取り組み」では、単なる事業実施ではなく、町民にとっての価値を追求します。

「地域DXの推進」では、マイナンバー活用やAI導入で、持続可能な行政サービスの構築を目指します。

「公民連携」では、民間に委ねるべき業務はアウトソーシングし、職員を優先度の高い業務へ集中させます。

「予算執行の厳格化」では、真に必要な見積りと適正な執行額に努め、執行後の減額補正を徹底します。

質問 業務の公民連携や官民協働が進むことで、行政と町民の距離が離れてしまうのではないかと。

答弁 母畑自治センターの新築や体育館への空調設置などの具体的な整備は、町民の交流と活動の場の整備であり、活動に推進力をつけ応援していくというところで、利便性の向上、満足度向上のためであり、町民のためです。

また「在京文化経済人交流事業」などを通じ、町民が誇りを持つ「シビックプライド」の醸成を目指します。

◆「まちなか再生」の深化と地域経済の循環に向けた戦略について

質問 「個立」から「回遊性」を考慮した環境整備は。

答弁 9月に開業する「道の駅」を起点に、歴史・文化施設へ人の流れを創出します。

質問 デジタルコンテンツやスタンプラリーを活用し、意図的に人を動かす仕組みづくりや、足のない高齢者や観光客が道の駅などに行くための、車や自転車などの「二次交通」の整備は。

答弁 買物支援バスの道の駅停留所設置を予定しており、路線バス

の立ち寄りも周辺町村と協議します。また、サイクルトレイン等についても先進地を調査し検討します。

質問 桜や石、狛犬など、石川町ならではの資源にもっと「こだわって」ブラッシュアップし、売り出していくべきと考えるが。

答弁 狛犬や菓子などにフォーカスを当て、地域商社SAKURAI Z Eが町内のプロの事業者に本気で寄り添い、向き合っていく、そこに支援をしていくことが行政の支援と考えます。



母畑自治センター整備予定地



鈴木重謙屋敷から望む石都々古和氣神社

「道の駅石川」9月開業

令和7年3月
定例会より



9月の開業を目指す「道の駅石川」

あれからどうなった？

一般質問のその後は

新たな地域の顔「道の駅石川」が今年9月にオープンします。

本施設は、地元の農家さんが丹精込めて育てた新鮮な野菜や果物なども販売される「地域活性化の拠点」です。また、まちなかへの回遊を促す情報発信機能も備えています。

町外から訪れる方々には本町の魅力を伝え、町民の皆様には日常の憩いの場として愛される、そんな「地域経済のエンジン」となって欲しいです。

本町の充実した子ども・子育て支援事業！

本町では、「共に創る 幸せ実現のまち」の実現に向け、さまざまな町独自の子ども・子育て支援事業を展開しています。

令和7年度からは、小中学校に入学する児童生徒に対して、1人3万円の入学祝金を支給しており、令和8年度の新入生は、小学校66人、中学校94人です。

他にも、第一子からの新生児祝金、在宅育児支援金、小中学校の学校給食費の全額補助、民間等保育施設への給食費補助

育児休業促進に向けた企業や男性育児取得者への奨励金など、子どもたちの健やかな成長を願い、町全体で子育てを支える施策に取り組んでいます。



令和7年度小学校入学式

報告します 議会の活動

学校法人掛田学園との意見交換会を開催（1月16日）

令和8年1月16日に、学校法人掛田学園との意見交換会を開催しました。

掛田学園からは、理事長、園長、副園長のほか、保護者2名が参加、町議会からは、小木委員長のほか文教厚生常任委員6名が参加しました。

同学園が行った保護者アンケート結果に基づき、保育環境、子育て支援、町の保育行政などに対して、意見交換を行いました。

（意見交換会は、町内のさまざまな団体と議員が、町政の課題やまちづくりなどについて意見の交換を行い、課題の共有や相互理解を深めるとともに、出された意見や提案などを議会活動に反映させ、政策提言などに生かしていく事を目的としており、議会事務局において、随時受け付けております。詳細は18ページをご覧ください。）

石川地方町村議会議員研修会（1月21日）

令和8年1月21日に、石川郡内の議会議員を対象に研修会が開催され、福島大学経済経営学類の、吉高神教授を講師にお迎えし、「地方議会とコンプライアンス」という演題で講演いただきました。



地方自治体・議会におけるハラスメント防止に関する法体系や、ハラスメント防止条例の必要性を踏まえた講演、研修が行われ、議会議員としてのコンプライアンスの再確認と政治倫理に関して理解を深める機会となりました。



令和8年第1回議員勉強会を開催（2月25日）

令和8年2月25日に、令和4年4月に施行された石川町議会基本条例に基づき、議会活動、議員活動における検証を行うため、議会運営委員会主催により、議員勉強会を開催しました。

議会基本条例の目的、内容の再確認のほか、検証スケジュールの確認を行い、令和8年度において取り組んでいくこととしました。



町議会議員と意見の交換を してみませんか？



石川町議会では、町政の課題やまちづくりなどについて、各種団体のみなさんの声を、今後の議会活動の参考とさせていただくため、各種団体との意見交換会を開催しています。みなさんからの申し込みをお待ちしております。

町内在住、在勤、
在学の5名以上の
団体でOK!

時間は90分

テーマは自由

対 象	町内に在住、通勤、通学する方により構成され、5名以上で参加できる団体とします。 ただし、次に掲げる団体を除きます。 (1) 公序良俗に反する活動をする団体 (2) 宗教団体 (3) その他議長が適当でないと認める団体
意見交換会の内容(テーマ)	申込書に記載されたテーマに基づいて、意見の交換を行います。
申込み・問合せ先等	石川町議会ホームページ掲載の申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX、Eメール、持参のいずれかにより、開催希望日の3週間前までに、石川町議会事務局にお申し込みください。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none">・テーマの内容や開催希望日時などによっては、お受けできない場合があります。・意見交換会でいただいた意見や提案については、常任委員会、議員全員協議会等で協議し、議会活動に反映させていきます。

申込み・問合せ先 石川町議会事務局 電話0247-26-2116

- 郵 送 / 〒963-7893 石川町字長久保185-4
- F A X / 0247-26-0324
- Eメール / gikai@town.ishikawa.fukushima.jp

詳しくは石川町議会HPをご覧ください。

<https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/admin/parliament/sanka.html>



